

認知症作業療法 活動計画（概要）

- ・佐賀県作業療法士会では、OT協会（制度対策部認知症班）の重点活動項目に沿った取り組みを継続・発展させる為に、地域包括ケア推進部の中に認知症支援委員会を設置し、15名の委員で連携を図りながら取り組みを進めている。認知症に関連した研修や派遣事業を通して会員の資質を向上させ、佐賀県での認知症に対する支援が出来る事を目指している。
- ・佐賀県作業療法士会では県・市町村からの依頼を受け、認知症初期集中支援事業、認知症カフェ事業に県士会員を派遣している。その他、佐賀県5地区に当委員会を担当者を設置し、各地区における認知症関連事業と派遣実績の現状把握を継続できるように取り組んでいる。

世界アルツハイマー・デーでのイベントの企画

- ・認知症の人と家族の会 佐賀県支部と佐賀県が協力して行われている認知症啓発イベントに県士会員も協力。今年度は、佐賀大学美術館を認知症支援のシンボルカラーであるオレンジにライトアップし、COVID-19感染予防に努めながら「光と音の夕べ」として演奏会を交えた企画でイベントを開催予定。



佐賀大学美術館 ライトアップ

認知症の人と家族の会との連携事業

- ・認知症の人と家族の会が主催する認知症カフェが佐賀市、伊万里市で毎月開催されており、それぞれ県士会員を派遣。
- ・ADデーのライトアップイベントに向けて相談があり、紙袋ランタンの創作活動を提案。
- ・6月に開催された九州作業療法学会では、認知症のシンポジウムで家族の会の世話人代表に発表を依頼し、改めて相互理解と関係性を深めることが出来た。



佐賀県・市町からの委託事業及び認知症研修、委員会事業

- ・佐賀県健康福祉部からの委託事業「認知症ケアに携わる者のリハビリテーション研修会」では、2016年から毎年計10回の研修会を行い、2021年度は延べ458名の受講者であった。今年度も10月からの開催に向け企画を進めている。
- ・鹿島市、江北町・大町町より認知症カフェ年6回開催の委託があり毎回4～7名を派遣。小城市からは認知症カフェ（年12回）、若年性・軽度認知症サロンへの参加者の評価（年4回）の委託があり、毎回2～5名を派遣している。
- ・認知症初期集中支援事業に佐賀市・唐津市・伊万里市よりチーム員の推薦依頼があり、計5名の県士会員を推薦。
- ・認知症OTスキルアップ研修①（UD研修）を実施し、受講者は17名（2022）。今年度は10月に修了者を対象に、認知症OTスキルアップ研修②の開催を計画している。



COVID-19（新型コロナウイルス）の影響・対応など

- ・県士会でZoom契約を行い、Web会議の実施、各研修会もリモート開催を中心に各事業を進めている。
- ・認知症カフェでは、人数制限や時間短縮など感染予防を徹底し開催している地域へ派遣協力を行っている。しかし、所属施設からの許可が下りず派遣協力できる会員が限定されている点が大きな課題となっている。



認知症カフェの様子